

令和7年蔵王町議会定例会12月会議

令和7年12月5日（金曜日）

出席議員（13名）

1番	平間 徹也 君	2番	宇田川 敬之 君
3番	佐藤 敏文 君	5番	藤澤 麻衣子 君
6番	葛西 清 君	7番	馬場 勝彦 君
8番	村上 正文 君	9番	今 千佳 君
10番	松崎 良一 君	11番	外門 清 君
12番	伊藤 雅代 君	13番	村上 一郎 君
14番	佐藤 長成 君		

欠席議員（なし）

説明のため出席した者

町 長	村上 英人 君
副 町 長	平間 喜久夫 君
会計 管理者 長	我妻 敏 君
会計 課 長	
総務 課 長	鈴木 賢 君
防災 専門 監	佐藤 洋一 君
まちづくり推進課長	川井 大文 君
町民 税務 課 長	高橋 幸治 君
保健 福祉 課 長	大槻 みちる 君
子育て支援課長	鹿島 亜希 君
環境 政策 課 長	宮澤 一弘 君
農林 観光 課 長	佐藤 敏彦 君
建設 課 長	大槻 健一 君
病院 事務 長	鈴木 智子 君

上下水道課長	平間勝文君
教 育 長	文谷政義君
教育総務課長	日下光義君
生涯学習課長	佐藤孝志君
スポーツ振興課長	佐藤武憲君
農業委員会事務局長	山家信行君

事務局職員出席者

事務局 長	佐藤長也君
事務局 長 補 佐	鈴木直美君

議事日程 第1号

令和7年12月5日（金曜日） 午前10時00分 開議

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 会議日程の決定

日程第 3 諸般の報告

日程第 4 行政報告

日程第 5 常任委員会調査報告

日程第 6 陳情第 7号 免税軽油制度の継続を求める意見書の提出を求めることについて

本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

午前10時00分 開議

○議長（佐藤長成君） 皆様、おはようございます。昨日あたりからやっと冬らしい気候になったようであります。

それでは、ご挨拶申し上げます。

本日、議会定例会12月会議を開催いたしまして、議員各位には何かとご多忙の中、全員出席の下で再開できますことを感謝申し上げたいと思います。

今年も早いものであと26日となりました。今月の1日には、えぼしスキー場で県内で一番早いスキー場開きとなり、10月29日に蔵王に初雪が観測されました。石子ゲレンデでは当日うっすらと雪化粧でありましたけれども、会場となった高原レストハウス前にはほとんど雪もなく、春を思わせるようなそういった暖かい気候でスキー場開きでありました。

しかし、昨日からのこういった天候になりましたので、多分、山のほうを見ると昨日からずっと雲がかぶっていたのである程度の雪は積もったのではないかなあと、そんなふうに思っております。

今シーズンも雪に恵まれて、多くのスキーヤーやスノーボード、そして家族連れが訪れて、事故のないシーズンになりますことを願っているところであります。

また、東北地方を中心に人里に熊の出没が数多く確認をされたところであります。人身被害も発生し、安全・安心であるべき生活圏を脅かしております。

本町におきましても、昨年、令和6年度より目撃情報が多くなってきており、捕獲頭数も多くなっております。12月になったとはいえ、警戒がまだまだ必要ではないかなあと思っているところであります。

このような中、町内の農作物の収穫も終了し、稲作については米不足から令和の米騒動と言われ、生産農家にとっては販売単価は過去最高となりました。再生産できる農家にとっては再生産できる単価となり評価しているものの、消費者米価が高くなれば米離れが続くのではないかと心配する声も聞かれております。

一方、果樹の主力である梨については、台風の被害もなく順調に生育し、市場単価もよく、まずまずの結果であるとのことでありました。

また、蔵王町のブランドとして期待されているリンゴのはるか、今月の6日、7日とはるか販売会が予定であります。明日とあさってです。そういうことが予定されているところであります。

今年も猛暑の中で時折降雨もあり順調に生育となって、今、出荷作業に追われているとのこ

とでありました。いずれにいたしましても、各農家の皆さんは1年の収穫を終え、一安心しているものだろうとっております。

さて、議員各位におかれましては、各常任委員会の休会中の調査、そして各研修会への参加、また2日間で実施されました町民と議員の懇談会、その取りまとめなど、大変お疲れさまでございました。町民と議員の懇談会は、議会と町民の皆さんとの直接対面してご意見を伺う大切な機会と捉えておりますし、出されたご意見、要望等は今後の議会活動なりまちづくりに活かしてまいりたいと考えているところであります。

本日から始まる12月会議であります。町長より議案第74号から議案第89号まで16議案が提出されます。町民の皆様のご生活に関わる重要な案件となっております。12日まで8日間の日程であります。慎重審議に当たっていただき、また議事運営につきましてもご協力をお願いし、活発なる12月会議になりますことをご期待申し上げ、挨拶とさせていただきます。

本日12月5日は休会の日ですが、議事の都合により、特に令和7年蔵王町議会定例会12月会議を再開いたします。

これより本日の会議を開きます。

ただいまの出席議員は13名であります。

定足数に達しておりますから、議会は成立いたしました。

本日の議事日程は、お手元に印刷配付のとおりであります。日程に従い議事を進めます。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（佐藤長成君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第125条の規定により、6番葛西 清君、7番馬場勝彦君を指名いたします。

日程第2 会議日程の決定

○議長（佐藤長成君） 日程第2、会議日程の決定を議題といたします。

お諮りいたします。本定例会12月会議の会議日程につきましては、別途お手元に配付のとおり、議案等の審議の関係上、本日から12日までの8日間としたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（佐藤長成君） ご異議ありませんので、本定例会12月会議は、本日から12日までの8日

間とすることに決しました。

日程第3 諸般の報告

○議長（佐藤長成君） 日程第3、諸般の報告をいたします。

本定例会12月会議に町長から議案第74号から議案第89号までの16件が提出され、これを受理しておりますので報告いたします。

次に、総務経済常任委員会及び教育民生常任委員会において所管事務調査を行いましたので、その調査結果報告については、お手元に配付のとおり委員長から報告があります。

次に、佐藤敏文君から、仙南地域広域行政事務組合議会定例会の報告がありましたので、お手元に配付のとおりであります。

次に、代表監査委員から令和7年8月分、9月分及び10月分の例月出納検査結果の報告並びに両監査委員から財政援助団体等監査結果の報告がありましたので、お手元に配付のとおりであります。

次に、研修会に議員の派遣を決定したので、お手元に配付のとおり報告します。

次に、佐藤敏文君から、議員派遣結果報告書が提出されましたので、お手元に配付のとおりであります。

次に、お手元に配付の陳情書一覧のとおり、意見書の提出等を求める3件の陳情書が提出され、陳情第6号から陳情第8号として受理しておりますので、陳情第6号及び陳情第8号については、議会運営（先例）基準第130項の規定により、陳情書の写しの配付をもって報告とし、陳情第7号は、議案としてお手元に配付のとおりであります。

次に、本定例会12月会議に説明員として出席を求めた者の職、氏名については、一覧表としてお手元に配付のとおりであります。

次に、町長から挨拶の申出がありましたので、これを許します。町長。

〔町長 村上英人君 登壇〕

○町長（村上英人君） 皆さん、おはようございます。

本日ここに議員各位のご参集の下、令和7年度定例会12月会議が再開されるに当たりまして、一言ご挨拶を申し上げさせていただきます。

議員各位におかれましては、平素から町政運営に対し格別のご理解とご協力をいただき、深く感謝を申し上げます。

季節の移り変わりは早いもので、本年も残すところ僅かとなりまして、年末も何かと忙しい

時期となりました。

紅葉に染まっていた蔵王の山々も次第に雪化粧へと装いを換えようとしている中、今月の1日ではありますが、宮城蔵王えぼしスキー場がオープン、また13日には宮城蔵王すみかわスノーパークスキー場がオープン予定であり、本町も本格的な冬シーズを迎えるところでありま

す。
昨日の雪ではありますが、えぼしスキー場の高原ゲレンデ10センチ、石子ゲレンデで20センチと、まだオープン状態にはいきませんが、これが根雪になっていただければうれしいなというふうに思っているところでもあります。

遠刈田温泉街を含め、本町に県内外から多くの観光客が来町され、スキー、スノーボード、樹氷鑑賞、温泉など冬の蔵王町を満喫し、観光のまちとして大いににぎわうことを期待するものであります。

本格的な冬期間に入り、除雪作業が開始される時期にもなっています。町では、安全・安心な冬道対策として、町民、そして冬のシーズンに観光に訪れた方々が安心して雪国の魅力を満喫できるよう、これまで同様に関係部局が一丸となり万全の除雪体制を取って、効率的、効果的に除雪作業を進めてまいりたいと考えております。

また、3月会議でお認めいただきました令和7年度の各課の事務事業も計画に沿って順調に進んでいるところであり、また基幹産業である農業観光の面においても、観光客の入り込み数、農作物の収穫状況共に順調な年であったと感じているところでもあります。

さて、本日ではありますが、開会の12月議会においては、人事案件、指定管理者の指定、条例の制定、改正、各種会計補正予算など全16議案を提出させていただきました。12月という節目の時期における議会ではありますが、町政を進めるに当たりまして、議員の皆様からの貴重なご意見を賜りながら、町民の皆様のためによりよいまちづくりを目指してまいりたいと存じますので、どうぞ慎重審議の上、全議案とも可決決定くださいますようよろしくお願いを申し上げます。挨拶とさせていただきます。

○議長（佐藤長成君） 以上で諸般の報告を終わります。

日程第4 行政報告

○議長（佐藤長成君） 続いて、日程第4、行政報告を行います。

町長から行政報告の申出がありましたので、これを許します。町長。

〔町長 村上英人君 登壇〕

○町長（村上英人君） それでは、行政報告を申し上げます。

初めに、総務経済部門の行政についてご報告を申し上げます。

まず、定額減税調整給付金（不足額給付）についてご報告を申し上げます。

令和6年度に実施した定額減税調整給付金（当初給付）に不足のある方に対し、本来給付すべき所要額と当初給付額との間に生じた差額を給付するものであります。

対象となる1,086人に対し、8月末から通知の送付を開始し、10月末で申請受付を締め切り、11月20日に給付を完了したところであります。

その給付実績は、1,029人に対し3,009万円、給付率であります。94.8%となったものであります。

次に、ツキノワグマ出没対策についてご報告を申し上げます。

本県では、ツキノワグマの目撃件数の急増に加え、9月から10月にかけて死亡事故を含め人身被害が発生した状況を踏まえ、10月23日から「ツキノワグマ人身被害防止強化期間」に設定し、人身被害防止に向けた情報発信など集中的に行われてまいりました。

本町においても、すぐさま緊急の課長会議を開催し、町内全域の防災無線スピーカーによる注意喚起及び消防団による巡回活動を行うなど、警戒を実施してまいりました。

また、本県をはじめ各県において、熊の遭遇リスクが高まり注意を呼びかけていたことから、先月15日に開催を予定しておりました宮城オルレ「蔵王・遠刈田温泉コース」のオープニングセレモニーを来週以降に延期したところであります。

本県の緊急対策の一環として熊よけの笛700個と鈴90個が支給されたことから、教育委員会を通じて各学校に配付したところであります。

今後の対応としては、これまでも行ってまいりましたが、隊員51名による蔵王町鳥獣被害対策実施隊の協力を得ながら見回り活動や箱わなでの捕獲活動を強化し、ツキノワグマの個体数の管理を行うなど、人里に出没する熊の頭数を減らす取組により、引き続き町民の安全・安心に努めてまいります。

次に、体験型交流活動の受入れについてご報告を申し上げます。

本町では、豊かな自然や産業などの多彩な資源を活用するため、町内14の関係機関で組織する蔵王町体験交流活動推進協議会を設置し、体験型交流活動の受入れを行っているところであります。

中でも、今年5月15日、16日の2日間、仙台市立郡山中学校2学年生徒219名が、地域の皆さんのご協力を得ながら、沢内行政区内の田んぼにおいて、手植えの田植を体験する活動受

入れを行ったところでありました。

9月26日には、収穫時期を迎えた稲を手刈りでの稲刈り体験と自然乾燥の棒がけ体験が行われました。収穫した720キロ（3キロ袋で240袋）のお米については、体験交流活動を行った生徒の元に届け、大変喜んでいただいたところでもあります。

引き続き、本町の多彩な資源を活用した体験交流活動を積極的にPRし、交流人口の拡大と地域のにぎわい創出に取り組んでまいります。

次に、消費者との交流とにぎわい創出についてご報告を申し上げます。

去る8月31日、蔵王町ふるさと文化会館駐車場を会場に、12回目となるみやぎ蔵王梨まつりを開催いたしました。

町外から予想を超える多くの皆様にご来場いただき、大盛況に終えたところでもあります。売上げも例年を上回り生産者の収穫に大きくつながるなど、蔵王ブランド梨を大いにPRできたところでもあります。

また、10月18日、19日の2日間、JAみやぎ仙南と蔵王町商工会、そして蔵王町の共同での開催から20回目を迎え、さらには町制施行70周年を記念した第20回蔵王町産業まつりを開催いたしました。

友好都市となった東松島市や茨城県常陸大宮市のほか、今年防災協定を締結した茨城県河内町の出店をいただきながら、本町の特産の販売を行ったところでもあります。町内外から多くの皆様にご来場いただき、大盛況となったところでもあります。

仙台市近郊に位置しているという利点を生かし、消費者との交流と各種イベントにより、蔵王の認知度（蔵王ブランド）の向上と本町に訪れる流人口の拡大を図り、生産者、観光事業者との所得の向上につなげてまいります。

次に、教育民生部門の行政についてご報告を申し上げます。

町制施行70周年時記念事業、蔵王落語会についてご報告を申し上げます。

町制施行70周年を記念し、町民の皆様に質の高い芸術文化鑑賞機会を提供し、笑いと潤いのある時間を提供することを目的とし、10月6日に開催したものであります。笑点等で活躍中の落語家、林家たい平師匠をはじめ春風亭一之輔師匠など、実力派の落語家4名による本格的な寄席形式の落語会を実施いたしました。

記念事業の一環として実施した蔵王落語会は、笑いを通じて町民が心を通わせ、蔵王町の魅力と活力を再認識する機会となりました。本事業の成果を今後の文化振興に生かし、個性豊かな薫り高い文化のまちづくりをさらに推進してまいります。

次に、町制施行70周年記念事業、スイングキッズ蔵王公演についてご報告を申し上げます。

町制施行70周年を記念し、子供たちの生演奏の迫力と音楽の楽しさを体験してもらい、芸術文化への関心を育む契機となることを目的とし、10月13日に開催したものであります。

小中学生をはじめ、音楽愛好家や家族連れなど幅広い世代の方々にご参加をいただき、ジャズの名曲をはじめ、ラテン音楽や日本の童謡まで幅広いジャンルの曲を披露され、子供たちの演奏とは思えない高い完成度と豊かな表現力に、会場から大きな拍手が送られていました。

本公演を通じて、記念事業にふさわしい、町民に夢と感動を届けることができたものと思っております。

次に、縁JOYスポーツフェスティバル2025 in ZAOについてご報告を申し上げます。

10月4日、蔵王町総合運動公園を会場に、今年で3回目となる縁JOYスポーツフェスティバル2025 in ZAOを開催いたしました。

友好都市の茨城県常陸大宮市と東松島市を招待し、地元のスポーツ少年団との学童野球交流大会を開催したほか、岩手県からの参加を含め全16チームによるゲートボール交流大会を開催いたしました。

また、スポーツフェスティバルの部では、三角芝と芝生広場等会場に、モルックやスラックラインなど7つのスポーツを体験するブースのほか、仙南消防本部による消防はしご車搭乗体験、宮城県看護協会仙南支部によるヘルスコーナーや、防災協定を結んだ茨城県河内町のシニアクラブによるペタンク及び輪投げコーナーなども開催をいたしました。

さらに、飲食・物販コーナーでは、キッチンカーによる食事の提供や蔵王会による梨の販売、観光物産協会によるぞおうさまグッズ販売等を行い、約800名の来場者で大変にぎわいました。

秋空の中、家族で楽しみながら、スポーツの秋、食欲の秋を体験していただき、大盛況に終わったところであります。

次に、第4回林家たい平杯町民ゴルフ大会についてご報告を申し上げます。

10月8日に、宮城蔵王カントリーゴルフクラブを会場に、第4回林家たい平杯町民ゴルフ大会が開催されました。

ゴルフの愛好家である林家たい平師匠をゲストとして毎年開催しており、今年も29組、111名の参加がありました。当日は曇り空で一時雨は降ったものの、過ごしやすい気温の中プレーを満喫していただきました。

たい平師匠はとてもサービス精神旺盛で、プレー終了後も一緒にプレーできなかった参加者へのサインや写真撮影の全てに応じていただき、表彰式では、たい平師匠が自らプレゼンターとなり入賞した皆さん一人一人に声がけしながら記念品を贈呈していただき、会場は笑いや喜びの笑顔であふれたところでもあります。

また、参加賞として、町制施行70周年を記念してゴルフ専用の記念ロゴが入ったタオルを全員にお配りし、喜んでいただいたところでもあります。

次に、縁JOYモルック南東北交流大会についてご報告を申し上げます。

11月3日に、総合運動公園多目的グラウンドを会場に、今年で3回目となる縁JOYモルック南東北交流大会を開催いたしました。

大会当日は、すばらしい秋空の下、宮城県はもとより隣県の山形や福島県、遠くは神奈川県からも参加があり、家族によるチーム、全国の様々な大会に参加する強豪チーム、蔵王高校生チームや聴覚障害のある方のチームなど、48チーム、141人が参加をいたしました。

大会運営には宮城県モルック協会の協力をいただき、各コートは一投ごとに一喜一憂する姿も見られ、参加者相互の交流も図られたところでもあります。

参加賞には町特産の高原ダイコンが配られ、入賞者や楽しみ抽せん会では、地元の企業等からご協賛をいただき、参加者からはこんなにたくさん商品が出る大会は蔵王町だけとうれしい感想もいただきました。

今後も、モルック競技における全国大会の誘致などを行い、競技の発展と蔵王町の魅力を全国に発信してまいります。

以上申し上げまして、行政報告とさせていただきます。

○議長（佐藤長成君） 以上で行政報告を終わります。

日程第5 常任委員会調査報告

○議長（佐藤長成君） 続いて、日程第5、常任委員会調査報告を行います。

総務経済常任委員会及び教育民生常任委員会において所管事務調査を行ったので、その調査結果について委員長から報告願います。

初めに、総務経済常任委員長から報告願います。3番佐藤敏文君、登壇願います。

〔3番 佐藤敏文君 登壇〕

○3番（佐藤敏文君） それでは、委員会調査の結果報告をいたします。

令和7年11月18日

蔵王町議会議長 佐藤長成 殿

総務経済常任委員会

委員長 佐藤敏文

委員会調査結果報告

令和7年議会の休会中の所管事務調査を終えたので、その結果を次のとおり報告します。

記

1. 調査事件 公共下水道事業に関する調査（上下水道課）
2. 調査期日 令和7年10月30日（木）
3. 出席者 委員長 佐藤敏文 副委員長 外門 清
 委員 藤澤麻衣子 委員 馬場 勝彦
 委員 村上 正文
 委員外 議長 佐藤長成
 欠席委員 宇田川敬之
4. 職務のため出席した者
 事務局長 佐藤 長也 事務局長補佐 鈴木 直美
5. 説明のため出席した者
 上下水道課 課 長 平間 勝文
 同 課長補佐兼係長 毛利日呂恵
 同 下水道管理係長 平間 崇規

6. 調査内容

上下水道課長等の出席を求め、「公共下水道事業に関する調査」として、公共下水道事業の運営や施設の概要、また下水道事業における今後の課題などについての詳細説明を受け、それらに対して委員が質疑を行い、調査を深めた。

また、下水道施設の現地調査として、永野西区内の伏越室や七日原区内のマンホールポンプ等の視察を行った。

その調査の結果及び内容は、別紙のとおりである。

7. 委員会の意見

① 今後の下水道事業を継続していくためには、管渠やマンホールポンプ設備など、主要な下水道施設の耐用年数を見据えた計画的かつ着実な更新を進めることが不可欠である。

現在、施設の更新費用に加え既設整備に要した企業債の償還が経営を圧迫しているので、

公営企業として料金体系や都市計画との整合性も含めた適正な受益者負担について、十分かつ慎重な検討を行って経営改善を図り、安定的な公共下水道事業の推進に努められたい。

以上、委員会調査結果報告といたします。

○議長（佐藤長成君） 次に、教育民生常任委員長から報告願います。6番葛西 清君、登壇願います。

〔6番 葛西 清君 登壇〕

○6番（葛西 清君） それでは、委員会調査の結果報告をいたします。

令和7年11月18日

蔵王町議会議長 佐藤長成 殿

教育民生常任委員会

委員長 葛西 清

委員会調査結果報告

令和7年議会の休会中の所管事務調査を終えたので、その結果を次のとおり報告します。

記

1. 調査事件 認定こども園の運営状況に関する調査（子育て支援課）

2. 調査期日 令和7年10月22日（水）

3. 出席者 委員長 葛西 清 副委員長 伊藤 雅代

委員 平間 徹也 委員 今 千佳

委員 松崎 良一 委員 村上 一郎

委員外 議長 佐藤 長成

4. 職務のため出席した者

事務局長 佐藤 長也 事務局長補佐 鈴木 直美

5. 説明のため出席した者

子育て支援課 課長 鹿島 亜希

同 課長補佐 藤村 美香

同 児童福祉係長 川村 卓矢

6. 調査結果

子育て支援課長等の出席を求め、「認定こども園の運営状況に関する調査」として、人員配置体制を含めた運営状況や、子どもたちの健康管理、発達障がい児等への対応、小学校との連携などについて詳細説明を受け、それらに対して委員が質疑を行い、調査を深めた。

また、現地調査として「おおぞらこども園」の施設を視察し、委託事業者が作る給食の実食も行った。

その調査の結果及び内容は、別紙のとおりである。

7. 委員会の意見

① 本町における認定こども園が公設で着実に整備され、施設も増改築により保育・教育環境の拡充が図られた。園児が伸び伸びと園生活を送る姿は、こども園の運営に関わる職員の保育・教育を行う質の高さを裏付けており大変評価できる。

「小1プログラム」に関しては、これまで行われてきた幼稚園・こども園・小学校との連携を踏まえ、さらに今後、国の施策による本町の新たな「架け橋プログラム」が作成されることから、幼稚園・こども園・小学校がより緊密な連携を図り、「遊び」「学び」「健康」「障がい児支援」などの多様な観点において、小学校生活への円滑な接続を強力的に推進されたい。

② ICTの活用では、登園管理や成長記録、家庭との連絡帳等のデジタル化は、事務の負担軽減・効率化に資するとともに、保護者の円滑な情報共有、さらには発達段階や興味・関心、個性の把握といった教育情報の小学校と連携・共有によりスムーズな接続も可能とする。半面、情報セキュリティの確保や現場の先生方の業務実態によりICT化に「馴染むもの」と「馴染まないもの」が存在することから、先行事例の活用や段階的導入など教育委員会部局も含め十分な検討を行い、遅れることなくICT化の恩恵を享受できるよう、計画的な推進に努められたい。

以上、委員会調査の結果報告といたします。

○議長（佐藤長成君） 以上で委員会調査報告を終わります。

日程第6 陳情第7号 免税軽油制度の継続を求める意見書の提出を求めることについて

○議長（佐藤長成君） 次に、日程第6、陳情第7号免税軽油制度の継続を求める意見書の提出を求めることについてを議題といたします。

お諮りいたします。ただいま議題となっております陳情第7号については、所管の総務経済常任委員会に審査を付託し、審査終了までの継続審査とすることにしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（佐藤長成君） ご異議なしと認めます。よって、陳情第7号については、所管の総務経済常任委員会に審査を付託し、審査終了までの継続審査とすることに決しました。

以上をもって本日の日程は全部終了しました。

本日はこれをもって散会いたします。

午前10時40分 散会

上記会議の次第は、事務局長の記載したものであるが、内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

議 会 議 長 佐 藤 長 成

署名議員6番 葛 西 清

署名議員7番 馬 場 勝 彦